

Engineering Ethics

2 units (compulsory)

Akihiro Kajitani · PART-TIME LECTURER

Target) 技術者としての意識と誇りを身につけ、工学倫理を守るために必要な知識と知恵を学ぶ。

Outline) 技術者に要求される倫理とは何か?比較研究と事例研究を中心に学ぶ。その上で、安全、環境、法規、知的財産権などに関連して、具体的にどのようなことが問題になるのか?実践的にどのように対処すればよいか?講師たちの技術者としての実体験をもとに、出来るだけ双方向的な授業をこころみる。工学倫理というむずかしそうなテーマにやさしく迫る。

Keyword) *safety, responsibility, risk*

Goal)

1. 工学倫理についての理解 (授業計画 1-9).
2. 技術者としての誇りと責任感 (授業計画 10-12).
3. 関連問題についての理解 (授業計画 13-15).
4. 実践的対応力 (授業計画 15).

Schedule)

1. はじめに
2. 比較論のこころみ
3. 実例研究 1(グループ討議と発表)
4. 実例研究 2(レポートと小テスト)
5. 技術者倫理と技術倫理
6. 安全と工学倫理
7. 環境・資源問題と工学倫理
8. リスク評価と技術者
9. 実例研究 3(レポートと発表・討議)
10. 技術者と法規
11. 製造物責任
12. 知的財産権と工学倫理
13. 事例研究 4(レポートと発表・討議)
14. 国際工学倫理
15. 実践的技術者倫理

Evaluation Criteria) プレゼンテーション評価 50%, レポート・小テスト 50%

Jabee Criteria) 成績評価と同じ。

Relation to Goal) 本学科教育目標 (A), (C), (D) に対応する。

Reference) 適宜紹介する。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=215777>

Contact)

⇒ 生物事務室(M棟703)

Note) 授業を受ける際には、2時間の授業時間毎に2時間の予習と2時間の復習をしたうえで授業を受けることが、授業の理解と単位取得のために必要である。